お客さまに、温室効果ガス排出量の少ないメーター(*1)をお届けします。

水道メーターサプライチェーンにおける社会的責任の遂行

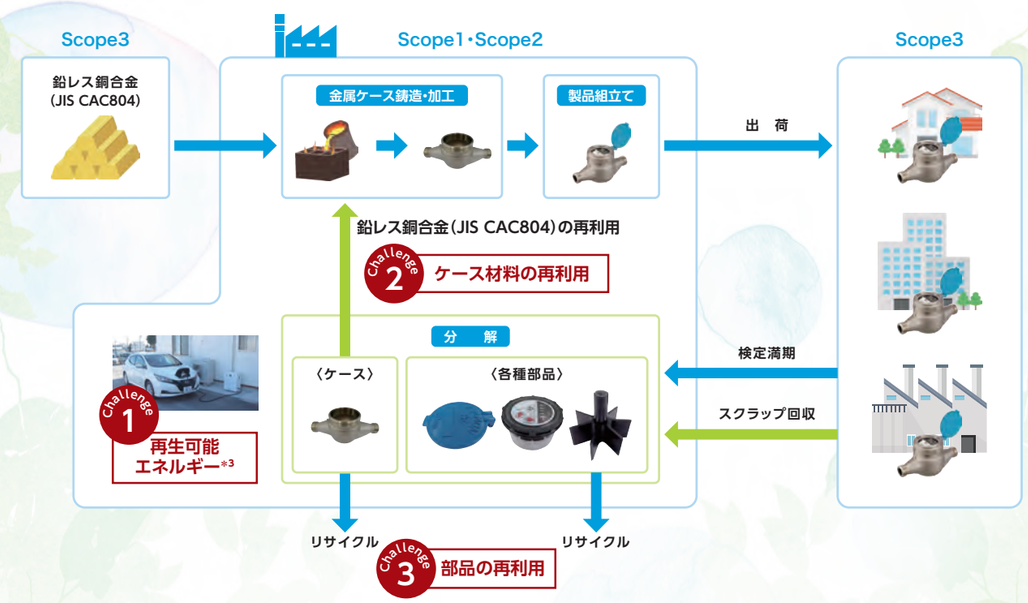
地球温暖化対策として、二酸化炭素(CO_2)をはじめとした温室効果ガス(GHG)の排出量の削減が重要なテーマとなっています。

azbilグループでは、2020年10月に政府が示した「2050年カーボンニュートラル宣言」に準じて、脱炭素社会の実現を見据え、自らの事業活動および製品・サービスの提供を通じて地球環境への貢献に向けたGHG削減に取り組んでいます。

アズビル金門グループでは、2021年にアズビル金門原町で電力の再生可能エネルギー転換を行ったことを皮切りに、順次他工場へも展開したことで、**メーター供給網全体で使用する電力に由来するCO_2排出量を2024年度には2017年度比83%を削減**しました。

電力に由来するCO_2排出量削減に加えて、水道メーターケース材料のリサイクルや製品1個単位でのCO_2排出量を管理するなど地球環境貢献に向けた様々な取組みを続けてまいります。

サプライチェーン全体を通じたGHG削減



Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

Scope2：他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3：事業者の活動に関連する他社の排出（Scope1、2以外の間接排出）

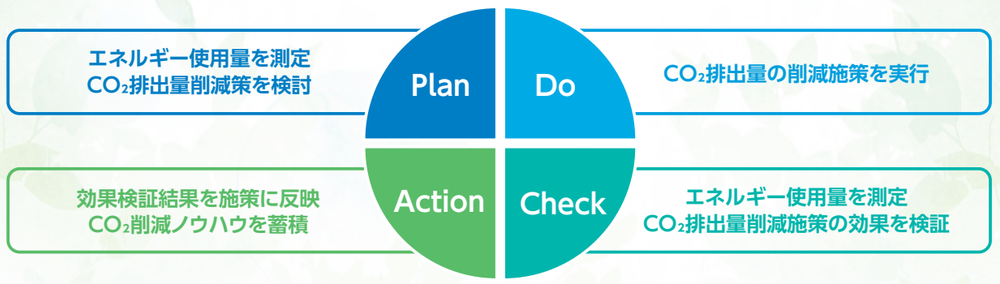
*1 温室効果ガス排出量の少ないメーター：当社従来比較
水道メーター製造に関わる工場における2020年度の電力使用量に対して、電力調達方法変更前後での温室効果ガス排出係数を乗じて比較

*2 使用電力に由来するCO_2排出量の算出方法
2023年度のアズビル金門グループ各事業所の年間使用電力量を元に、2024年3月末時点までに実施した施策の実施効果を試算し、環境省の「温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度」ウェブサイトで公開されている電気事業者別排出係数を乗じて算出した。

*3 再生可能エネルギー
調達した電力量に見合った非化石証書購入によりCO_2排出量の実質ゼロを実現した電力

アズビル金門グループのメーター供給網におけるCO_2排出量削減の取組み事例

アズビル金門グループのCO_2排出量実質ゼロにする取組み(PDCA)



アズビル金門グループはお取引先さまとともにCO_2排出量削減に取り組んでいます